

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 5 日

事務事業名		真壁農村高齢者センター管理運営事業						事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け						新規/継続	継続	事務事業No.	040104000857
政策体系	総合計画の施策名	0401 農林業の振興						単独/補助	単独	所属課	050101
	政策名	04	活力ある産業のまちづくり					主要事業			農林課
	施策名	01	農林業の振興					市長マニフェスト		グループ	農政G
	手段名	04	④農村環境の保全					未来PJ事業			
		財務会計上の位置付け						合併建設計画事業			
		財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計				
	01	06	01	02	02	00	農業総務事業				
法令根拠								単年度繰返し (年度～)			
								期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像) ・平成20年度から、指定管理者(東山田地区)と協定を結び維持管理を委託している。 ・地域住民との交流の場を提供し、地域の発展と地区環境の向上を目的とする。 ・平成29年度より一般財産として、施設を維持管理可能な者を公募した結果、民間事業者と土地及び建物の賃貸借契約を結んだ。
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・平成29年度より施設の新たな使用者を公募。 ・行政財産から一般財産への変更。 ・契約期間終了後、施設の使用希望者で維持管理ができる者と賃貸借契約を結ぶ。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移									
①手段 (担当者の活動内容)		④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	
・管理運営についての協議 ・事業実績報告の受理		管理運営に関する協議	h	30.00	20.00	20.00	20.00	20.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	
・真壁農村高齢者センター		建物の面積	m ²	173.89	173.89	173.89	173.89	173.89	
		敷地面積	m ²	1,004.47	1,004.47	1,004.47	1,004.47	1,004.47	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)	31年度 (目標)	32年度 (目標)	
・施設が適正に維持管理される		管理者の事業達成度	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	
		利用者からの苦情	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
				0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

(3) 投入量（事業費）の推移				28年度 (実績)	29年度 (実績)	30年度 (計画)			期間限定 総投入量
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0		0
			県支出金	千円	0	0	0		0
			地方債	千円	0	0	0		0
			使用料・手数料	千円	0	0	0		0
			その他	千円	0	0	0		0
			一般財源	千円	285	199	199		199
			事業費計（A）	千円	285	199	199		199
	人件費		正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		
			述べ業務時間	時間	45.00	54.30	30.00		
			人件費計（B）	千円	132	159	88		
トータルコスト(A)+(B)			千円	417	358	287			

事業費の内訳	29年度事業費 実績(千円)				30年度事業費 予算(千円)			
	14 使用料及び賃借料	199						
合 計				199			合 計	199

(4) 当該年度の実施内容		30年度の事業内容		31年度の事業内容		32年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する							
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	真壁農村高齢者センター管理運営事業	事務事業No.	40104000857	所属課	農林課
-------	-------------------	---------	-------------	-----	-----

【Do】 1. 事務事業の現状把握（その2）

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の憩いの場を提供することを目的として始まった。現在は、平成20年度より指定管理制度を導入し、管理の効率化及び経費の削減となった。平成29年度からは一般財産として、民間企業と5年間の賃貸借契約を結んだ。よって指定管理施設としての使用は平成28年度末をもって廃止。 	
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？	
<ul style="list-style-type: none"> ・東山田区としては、施設の維持経費がかかりすぎてしまうため、平成28年度末で指定管理者を辞退する。 ・まだ使用可能な施設であるため、施設を維持管理できる企業等に使用していただきたいとの意向。 	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
現状維持	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度から民間事業者と賃貸借契約を締結したことにより、適性な管理状況となっている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称）
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理施設であり、市の財産であるため妥当である。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・管理者は維持管理を全うしており、向上の余地はない。
効率性	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 <ul style="list-style-type: none"> 民間事業者との賃貸借契約を締結中は影響はない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の公募や指定管理者制度を導入しているためこれ以上はない。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？）
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> ・人件費のみのため削減余地はない。
⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？）	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の公募や指定管理者制度を導入しているため公平である。 	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	平成29年3月31日をもって、東山田区が指定管理者を辞退したため、今後は一般財産とし、一般企業に施設を貸すこととなった。施設保全・修繕等の費用は企業負担となるため、施設にかかる経費等は削減が見込める。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <div> <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <div> (複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる </div> </div> <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																						
		成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A <div> A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） </div> <div> C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出 </div>	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認 平成29年度から普通財産に変更し、企業に賃貸契約済